

役員メッセージ：国際障害者デーに寄せて

今週末の12月3日（日）は**国連の国際障害者デー（IDPD）**です。協和キリンでも世界中の様々な場所でこの記念日にちなんだ活動が行われます。

1992年から始まった**国際障害者デー**は障害をめぐる地域社会の理解を促進することを目指し、世界人口の約16%にあたる約13億人の障害者⁽¹⁾のアクセス、権利、ウェルビーイングに対する支援を結集するために制定されました。今年のテーマは「障害者のために、障害者と共に、障害者によってSDGsを支え、達成を目指して団結する」です。

協和キリンは、“あなたを歓迎します—You are Welcome—”

人は誰もが様々な能力を持っています。表面化している能力もあれば、潜在的なものもあります。そして多くの人が隠れた障害や身体的な障害を抱えており、障害のある大切な人を自宅で介護している人もいます。私は当社の従業員一人ひとりが、仲間が“歓迎されている”と感じる職場環境を作っていかなければならないと考えます。ありのままの自分であることが歓迎され、話を聞いてもらい、価値を見出してもらい、等しく共に成長し、繁栄できる空間を作る責任があるのです。

そのような考えは、当社グループの価値観の一つWa(和)に基づいています。日本語で“互いに相手を大切にし、協力し合うこと”を意味するWaは、個人が成長し、繁栄し、大きな目標を達成するために、チーム、グループ、コミュニティの中で欠かせない要素です。患者団体、社外ステークホルダー、従業員、コミュニティなど、私たちがつながるあらゆる関係において、私たちは相手を尊重し協力関係を築く責任があります。Waによって皆がひとつとなり、すべての人が自分らしくいられることを歓迎することができるのです。

私たちはWaを拠り所として、一人一人の違いや能力、障害を受け入れ、**ちからの違いにかかわらず誰でも歓迎される**コミュニティを共に築いていきます。



Kyowa Kirin Chief International Business Officer

Abdul Mullick

協和キリングループの IDPD 活動 協和キリンは今年も世界中の障害を持つ方々を支援してきました。

- EMEA 地域の拠点 Kyowa Kirin International plc は、障害を持つ従業員やその支援者のネットワーキングと専門性を育む世界唯一の組織パープルスペースにメンバーとして参画しています。
- 協和キリンは、国内において“企業の成長に貢献する障害者雇用の新しいモデルを確立する”ことを目的とした、日本拠点のコンソーシアム及び非政府組織である企業アクセシビリティ・コンソーシアム（ACE）のメンバーとして活動を展開しています。
- アジアパシフィック地域の拠点 Kyowa Kirin Asia Pacific Pte. Ltd.の従業員は、障害者のインクルージョンを支援し、その能力を称えるシンガポール最大の運動であるパープルパレードに参加しました。

隠れた障害や身体的な障害を抱えている、もしくは、障害のある大切な人を自宅で介護されている**“あなた”を歓迎します。**

—国際障害者デーに寄せて—